

令和7年度 浜松市立泉小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察

別紙（学校便り）のとおり

2 学校関係者評価

2月10日（火）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

・いじめ対策について

- いじめが少しずつ小さいうちにつぶせるとよい。そして、不登校が減るとよい。
- 学校がこんなにたくさんのいじめ対応をしていることが分かった。
- 聞き取りは時間が掛かることだと思う。短い休み時間や昼休みを使うのは忙しい先生方にとって大変だと思う。でも、今年度は学期に1回ずつ「子供面談」という時間を授業時数としてとって、じっくりと聞いてくれるようになったことはとても良い。子供たちも安心して先生に話ができると思う。
- 先生方は、いじめに対して全てに対応しているので、いじめ対応に関する評価は90%と、高い。でも保護者の評価は78%と、低い。これは、保護者は当事者のみ関わったことなので、知らないことが多いからだと思う。もっと学校の先生方がやっていることや苦勞が保護者に伝わればよいと思う。

・学力の定着、学習環境について

○保護者アンケートの意見と同様「全国学力調査の結果、国語、算数、理科全ての教科で全国、県、市より平均点が下回っている。学力が上がっていない。」学校は学力を上げることが役割だが、上がっていない。学校運営協議会委員が子供たちのために（子供たちの見守りをしながら、挨拶をし、楽しく学校生活を送ってもらおうと）しているのに学校はどうだろうか。学校の評価というのは「学力が上がっているかどうか」で決まる。

○保護者アンケートの中に「授業中に騒いでいる子への対応が難しいのではないか」という意見があった。いろいろと苦労はあると思うが、先生同士で協力し合って集中できる環境をつくってあげてほしい。

・外部人材の活用について

○ボランティアの効果について、子供の評価が昨年より低くなった。これは、良く捉えるとボランティアさんが来てくれるのは当たり前（通常）なことになってきているという思いからかもしれない。保護者のアンケート結果（自分がコミスクの一員として協力しているか）は昨年度から上がってきている。さらにもっと認知してもらいたい。アピールできたらよい。

○保護者は「自分の言いたいことは言うけれど、参加はしたくない。」と言うのが本音だろうか。しつても本当は保護者がやるべき。学校に任せすぎている。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

・子供同士の間人間関係づくり（いじめ防止対策）について

人とあたたかくかかわる子・・・道徳教育、学級活動（学級会）等の充実

- ・道徳科では「自分事」として捉え、様々な価値に気付かせる。友達の意見を聞き、その考えや思いも大切にする。
- ・研修教科を学級活動（学級会）とする。授業では、「話し合い」の型を知り、日常の諸課題に対して十分に話し合い、解決を目指す。自分の主張だけでなく、学級みんなのためにできそうなことを考える。どんな意見が出てみてもまずは、あたたかく受け止める。教師の出番はなるべく少なくし、「自分たちの問題を自分たちで考え、自分たちで改善する」という気持ちで取り組ませる。そして、最後は「多数決」で決めるのではなく、みんなにとっての「納得解」を見つけていく。「折り合いの心」で学級自治を目指す。

・学力を向上・定着させるための手立てについて

これまで国語科、算数科の授業の中で行ってきた「ドリル」や「新出漢字」「ドリルパーク」「書写ワーク」「プリント」「ミニテスト」等の短時間で小分けしてもできる学習を月・水・金曜日の8:00から8:15に「モジュール学習」として朝の時間帯に行うようにする。始業と同時に自然に学習に取り組む習慣を身に付けさせ、学力の向上と定着を図る。運営協議会委員からは「まとめや学習の遅れがでないか心配である。」という意見が挙がった。年間時数、指導内容は決まっているので、学習進度の遅れや未修がないように学年で確認し合って授業を調整していくようにしていく。

・ゆとりある週末にすることについて

モジュールを取り入れることにより、1時間分の学習が確保できる。そこで、金曜日の授業を各学年とも本年度より1時間カットして下校時刻を早める。子供たちは帰宅後、自分の取り組みたいことや休息のために時間がもてる。教職員は1週間の振り返りや教材研究、学年会ができる。子供にとっても教職員にとってもゆとりのある時間を生み出すことによって気持ちも体も整え、次への準備に充てることができるようにする。保護者には有効な時間の使い方を子供と一緒に考えてもらうよう伝えていく。

・自分で安全を考えて登下校することについて

子供自身が自分の安全を確かめながら登校できるようにするためにこれまでの集団登校を廃止し、「自律登校（個人登校）」を実施していく。新1年生も4月から自律登校になる。安全に登下校することができるよう、児童に指導をし、保護者にも見守っていただけるように説明をしていく。職員は、学期始めに登校の見守りをしていく。

・外部人材の活用について

泉小はコーディネーターの紹介で、多くの方が子供たちのために学習を支えてくれている。今後も職員からの要望やコーディネーターからの紹介を基に、来年度の学習や活動が充実したものになるよう計画・活用していきたい。子供たちには学習の振り返りをする際、学習の一助となっていることを知らせていく。保護者にはさくら連絡網で啓蒙を図っていく。